

半導体漫遊記

湯之上隆

⑪

私は、何を隠そう原子核工学の出身である。卒業後、日立に就く。修士課程の2年間、大阪の熊取町にある京大原子炉実験所で研究を行った。ちょうどチェルノブイリの原

私には共通点もある。この事情は半導体でも似ている。工場には数百台の製造装置があり、半導体チップの製造フロアは500工程以上に上る。これを支えているのは数十社に上る。装置・材料メーカーや材料メーカーに支えられている

福島の原発が起きたところだ。卒業後、日立に就く。修士課程の2年間、大阪の熊取町にある京大原子炉実験所で研究を行った。ちょうどチェルノブイリの原

私は、何を隠そう原子核工学の出身である。卒業後、日立に就く。修士課程の2年間、大阪の熊取町にある京大原子炉実験所で研究を行った。ちょうどチェルノブイリの原

	原子力発電所	半導体工場
相違点	設備や技術	40年以上継続使用
	競争環境	3年ごとに一新
	国との関係	厳しい価格競争
共通点	国策として推進	コンソーシアム
	システム	巨大で複雑なプラント
	産業構造	500以上の製造工程
	下請け、孫請け、…、8次下請けに支えられている	装置メーカーや材料メーカーに支えられている

表1 原子力発電所と半導体工場の比較

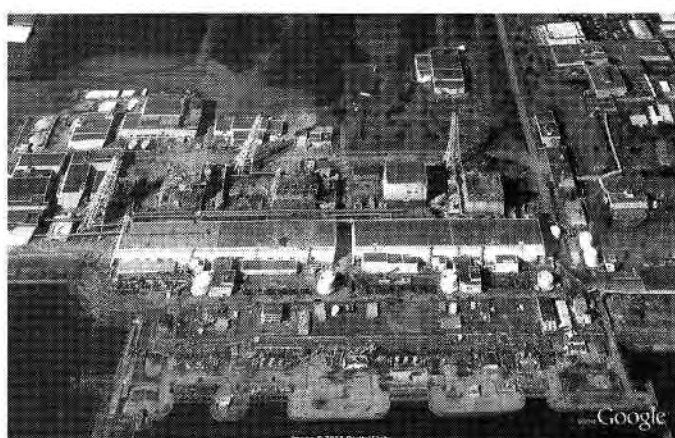
今、福島第1原発の極めて過酷な環境の下で、数百人の作業員が事故対策に当たっている。作業員の食事は1日2回

原発の極めて過酷な環境の下で、数百人の作業員が事故対策に当たっている。作業員の食事は1日2回

原発の極めて過酷な環境の下で、数百人の作業員が事故対策に当たっている。作業員の食事は1日2回

原発の極めて過酷な環境の下で、数百人の作業員が事故対策に当たっている。作業員の食事は1日2回

装置・材料メーカーと対等に 原発と半導体に共通点



デジタルグローブ社が3月18日に撮影した福島第1原発の衛星写真。中央右から1号機、2号機、3号機、4号機(ロイター＝共同)

協会がネットワークで結ばれている。風向きや降水量

急に後方支援を充実させるべきである。何よ

既に40年以上稼働している。一方、半導体で

技術や設備の進歩が遅く、価格競争とは無

新たな燃料損傷があれば、計画通りの収束が困難にな

一方、経済産業省原子力安全・保安院は18日、4号